

積算資料 建設資材価格指数

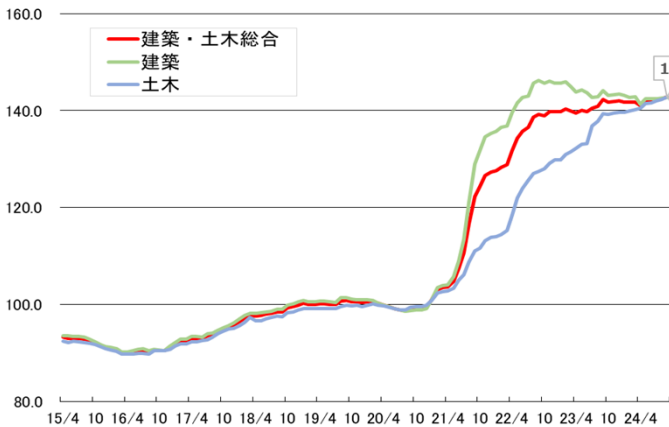


一般財団法人 経済調査会 経済調査研究所

建設資材価格指数は、建設工事で使用される資材についてその価格変動を総合的に捉えることを目的とした指数です。年々変化する建設工事の内容に対応した総合的な価格変動を表す総合資材価格指数として、価格変動に係わる資料や効率的な資材確保の資料等としてご利用下さい。

指数の推移 (2024年9月調査)

全国・2020年度平均=100



	当月指数	前月比	前年同月比
建築・土木総合	142.8	+0.3	+0.5
建築	142.7	+0.1	-1.4
土木	142.9	+0.6	+3.5

指数の詳細な計算結果はこちら
<https://www.zai-keicho.or.jp/service/build/price/>



部門別 主な指数の動き (主要10都市)

	前月比 プラス	前月比 マイナス
建築・土木総合	<ul style="list-style-type: none">生コンクリート：+14.0仙台、+5.1新潟コンクリート二次製品：+6.9広島、+4.0高松、+3.5札幌、+1.0名古屋、+0.1新潟骨材：+1.6東京瀝青材：+2.1那覇再生アスファルト混合物：+4.7新潟、+4.0高松	<ul style="list-style-type: none">瀝青材：-8.7新潟、-8.2札幌・仙台・広島、-7.4名古屋、-7.3高松、-6.9福岡、-6.5大阪、-5.3東京普通鋼鋼材：-0.9福岡、-0.8仙台
建築	<ul style="list-style-type: none">生コンクリート：+12.1仙台、+4.9新潟コンクリート二次製品：+4.6広島、+2.3高松、+1.6名古屋、+0.7札幌、+0.1新潟骨材：+1.2東京再生アスファルト混合物：+4.7新潟、+4.0高松	<ul style="list-style-type: none">普通鋼鋼材：-1.2福岡、-0.9仙台
土木	<ul style="list-style-type: none">生コンクリート：+16.0仙台、+5.2新潟コンクリート二次製品：+9.8広島、+6.3札幌、+6.2高松、+0.2名古屋骨材：+2.4東京瀝青材：+5.7那覇再生アスファルト混合物：+4.7新潟、+4.0高松	<ul style="list-style-type: none">瀝青材：-18.5東京・名古屋・大阪・広島、-17.7福岡、-17.4仙台、-17.2新潟・高松、-16.4札幌普通鋼鋼材：-0.6仙台・福岡

指数集計対象資材の市況

9月調査に基づく建設資材価格指数は、建築・土木総合で前月比プラス0.3ポイントの142.8と3カ月連続で過去最高を更新した。これは、生コンクリートやコンクリート二次製品の価格上昇が指数の引き上げに大きく寄与したことによるもの。指数を建築、土木別にみると、土木指数がプラス0.6ポイントの142.9と8カ月連続で過去最高を更新。一方、建築指数はプラス0.1ポイントの142.7と、落ち着いた動きとなっている。その結果、両指数は3年8か月ぶりに土木が建築を上回った。今後も生コンクリート等の市況は堅調推移となる見通しから、土木指数が建築指数を上回る傾向は続きそうである。ただし、スクラップ価格の下落により鋼材関係市況の先行き気配は弱含みとなるなど不安定要素もあることから、目先、指数は横ばい推移の公算。

指数に関するお問い合わせ先